

第2回放課後児童クラブ運営主体強化研究会(R1.8.28)の概要

次第

■こども未来課長あいさつ

■議事

- (1) 運営実態調査の結果について
- (2) 前回の議事概要について
- (3) 主要課題及び改善策について

(1) 運営実態調査の結果

■委員の主な意見

- ・社協やNPO法人は「現状維持」の回答率が高く、運営自体はあまり問題ないことの表れ
- ・現状維持では、課題の解決ができない
- ・法人化のことが良くわからない場合、課題があっても「現状維持」と回答したクラブも多いのではないか
- ・法人化のメリットやデメリットなどの知識を増やして理解を共有することも必要
- ・地域や保護者との関わりを保ちつつ、法人化の大分県モデルをつくり、手を挙げたクラブを後押しする支援を考えてはどうか

(3) 主要課題及び改善策

■委員の主な意見

①運営組織の在り方

- ・法人化や課題解決のための中間支援があるとよい
- ・地域や保護者とのこれまでの繋がりが保てるか、不安
- ・法人にすることで、学校や行政と対等に話ができる。
- ・会計事務など役割分担が組織的にでき、支援員が子どもの見守りに専念できる。
- ・単体を法人化するより複数クラブで法人化する方が、事務の一括管理や支援員の相互フォローなど業務改善に繋がる
- ・団体の運営を引き継ぐ際、当初は職員や保護者の抵抗が大きいですが、トライ&エラーで改善を続けていくことで、理解を得られる。
- ・金銭管理や労務管理など専門的な部分について支援が欲しい
- ・常勤職員を配置できるよう、委託料を増額して欲しい。
- ・運営主体の後継者育成は課題。協議会の役割大きい。
- ・保護者が保護者を巻き込み、創立時の思いを引き継いでいくことが重要。
- ・行政としては、公から民間に委託する方向。新たな公設は困難。

②行政に望む支援の在り方 →次回協議

■今後の進め方

- ・複数クラブでの法人化をメインに方向性やモデルを推奨していく
- ・全市町村担当や各市のクラブ代表を集め、意見交換の場がほしい
→(県)時期をみて開催を検討したい